



## 思いやりとは、使うにつれて強くなっていく筋肉である

校長 小松 裕和

暦の上では、もう 12 月になります。今年も 1 か月を残すのみとなりました。学校では、10 月、11 月と大きな行事が続き、子どもたちもやっと一息ついているようです。特に、11 月に開催された学習発表会では、「自分たちの成長」と「頑張っていること」を保護者や参会者に伝えようと、発表内容を精査し、クイズ形式やテレビ番組仕立てなど分かりやすくしようと取り組みました。参会者の方々からも盛大な拍手をいただき、子どもたちにとっては大きな励みとなりました。

さて、11 月 20 日は何の日か知っていますか。実は、1954 年、国連総会は「すべての国が子どものための一日を定め、子ども同士の相互理解を深め、子どもの福祉を増進するために行動すべきである」との決議を採択し、1959 年に「子どもの権利に関する宣言」を発出しました。カタールでもこの日にいろいろな団体が「World Children's Day」として様々なイベントを開催していました。今、世界を見渡してみると教育を受けられなかつたり、戦争や貧困の影響を受けたりしている多くの子どもたちがたくさんいます。

右の写真は、私がインドに派遣されていた頃に通勤途中でよく見かけた光景です。カタールでは見かけることはありませんが、貧困のために路上で生活をしていたり、交差点で車が止まると何か施しを求めてきたりする子どもたちがいました。

「人は生まれてきたときから、みんな同じようにかわいがられたり、同じように大切にされたり、みんな楽しく、自分らしく生きることができる。」という言葉は、世界人権デーに採択された言葉です。学校でも子どもの権利に関する宣言や世界人権宣言を受けて、子どもたちの安全や幸福を求める取り組みとして、「思いやり」の心を育てています。自分の幸せを追求すると同時に、相手の幸せも追求する心を育てていきたいと考えています。現在、学校で取り組んでいる「砂漠に花を咲かせよう」プロジェクトも自分たちの校庭を花一杯にしたいという思いから同じような地域や別な環境課題を抱えている地域にも思いを寄せ、自分たちに協力できることを考えるきっかけになることを期待しています。表題にある言葉は、これまでたくさんの言葉を残してきたインドのマハトマ・ガンジーさんの言葉です。まさに、今、子どもたちに付けていきたい資質の一つがこの言葉に集約されているのではないかと思います。



令和7年度

## 12月行事予定

ドーハ日本人学校

日	曜	学校行事等	下校刻
1	月	個別面談	15:15
2	火	個別面談	14:15
3	水		15:15
4	木		15:15
5	金		
6	土		
7	日		15:15
8	月		15:15
9	火		14:15
10	水	委員会活動（7校）	15:15
11	木	マラソン試走（アルライヤンパーク）	15:15
12	金		
13	土		
14	日		15:15
15	月	運動会練習（アルライヤンパーク）	15:15
16	火		14:15
17	水	2学期終業式	11:00
18	木	ナショナルホリデー	
19	金		
20	土		
21	日	冬季休業日	
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水	↓	

## 【1月の主な行事予定】

- ・ 7日（水） 3学期始業式・発育測定
- ・ 8日（木） 委員会活動
- ・ 20日（火） 運動会予行練習
- ・ 21日（水） 委員会活動
- ・ 23日（金） 運動会
- ・ 24日（土） 運動会予備日
- ・ 25日（日） 振替休業日
- ・ 28日（水） 避難訓練③

授業日数  
13日